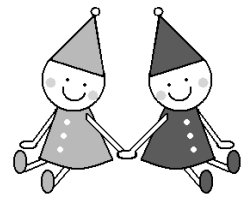


# 支援センターだより



2010.2.発行 vol.64

いよいよ冬本番ですが、その中でも春は一步ずつ近づいてくるんですね。  
お元気でこの冬をお過ごしですか。

インフルエンザ、ちょっと下火のニュースにはほっとしますが、空気の乾燥はまだまだ続きます。外出から帰ったら、お子さんと一緒にガラガラペットうがいをしたり、石けんで丁寧に手洗いをする、寒い時ですがぜひ習慣化したいですね。

**1月の季節のお楽しみの日**、センターに来館の親子さんたち「うわぁー雪だー」と空からの思わぬプレゼントに大喜びでした。さぞかし外は冷たかったのではと思いましたが、じきにみぞれに変わった空模様にも「雪だー、雪だー」と叫んでいました。寒さの中を歩いてくると、ほっぺはみんなリンゴのように真っ赤っ赤。久しぶりに呼気も白く見えました。本格的に雪が降ってほしいな…と、その後ずっと空からの白いプレゼントを待っているのですが、さて2月はどうでしょうか。子どもたちがあんなに喜んでくれるのですから、1回くらいは、♪雪やこんこ あられやこんこ 降っては降っては ずんずん積もる♪の雪の日があってもよいと思うのですが。

うす氷の張った道路や霜で持ち上がった地面、霜の降りた落ち葉など…冬ならではの楽しみにも出会ってほしいなと思っています。“寒さなんぞへっちゃらだい”の、子どもは風の子になれば良いですね。

**2月は恒例の豆まき**があります。ぜひお時間を作って一緒に豆まきを楽しんでください。ご参加お待ちしております。

両方 仁子

寒くて、手がかじかんで、ベソをかいたら♪なきむし けむし はさんで すてろ♪なんて言われたら、広場の元気っ子さんは「エへへ」と泣き笑いになるのでは。

**はや 囃しうた いろいろ** (藤田浩子氏 <幼児編>『育つ・育てる②』から)

- ♪ あ〜らら こらら (悪いことをしたときに)
- ♪ あ〜あ ( " )
- ♪ いやしこかしこ さかやのきつねこ (人の物をほしがったときに)
- ♪ し〜かられた しかられた (叱られたときに)
- ♪ うんとこどっこい 肥やしの子 (「ハイ」でなく「ウン」と返事をしたときに)
- ♪ かわいいと〜きゃ かわいいけ〜ど に〜くいと〜きゃ ペシッ  
(にくまれ口をたたくときに。最初なでなで…として、最後はおでこをペシッとふれる)

赤ちゃんだろうが幼い子だろうが、ダメなものはダメなのです。失敗したときややってはいけないことをしたときには、まわりが囃しました。どんなに幼くても「しまった!」「はずかしい!」と思って一旦しよげることは大事です。そして「ごめんなさい」とか「もうしないもん」とかの言葉(や態度)が出たら囃すのはやめて、「ごめんなさい」が言えたことをほめてやります。こんなことをしてしまつて「はずかしい」と思う気持ちは、どんな幼い子にも必要です。囃しうたというのはいじわるのように聞こえますが、歌ですから、「ダメ!」や「こら!」よりやわらかいし、囃すことで、何をやってもお前のことはちゃんと見てるよというメッセージにもなります。